

平成21年3月5日

自動車用緊急保安炎筒の 回収システムの現状

日本保安炎筒工業会 事務局

自動車用緊急保安炎筒とは



- 非常時に緊急事態を知らせる為、自動車への備付が義務付けられている。
- JIS規格にて有効期限は4年間であると明記。
- 有効期限が切れた発炎筒は車検・点検時等での交換を推進している。

発炎筒販売の流れ

■ 商流・物流

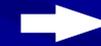
発炎筒製造・販売メーカー



自動車部品販売会社
自動車メーカー



カーディーラー
自動車整備工場
ガソリンスタンド
カー用品店
ホームセンター



ユーザー

発炎筒の販売数量

- 年間販売数量 (日本保安炎筒工業会2007年調査)

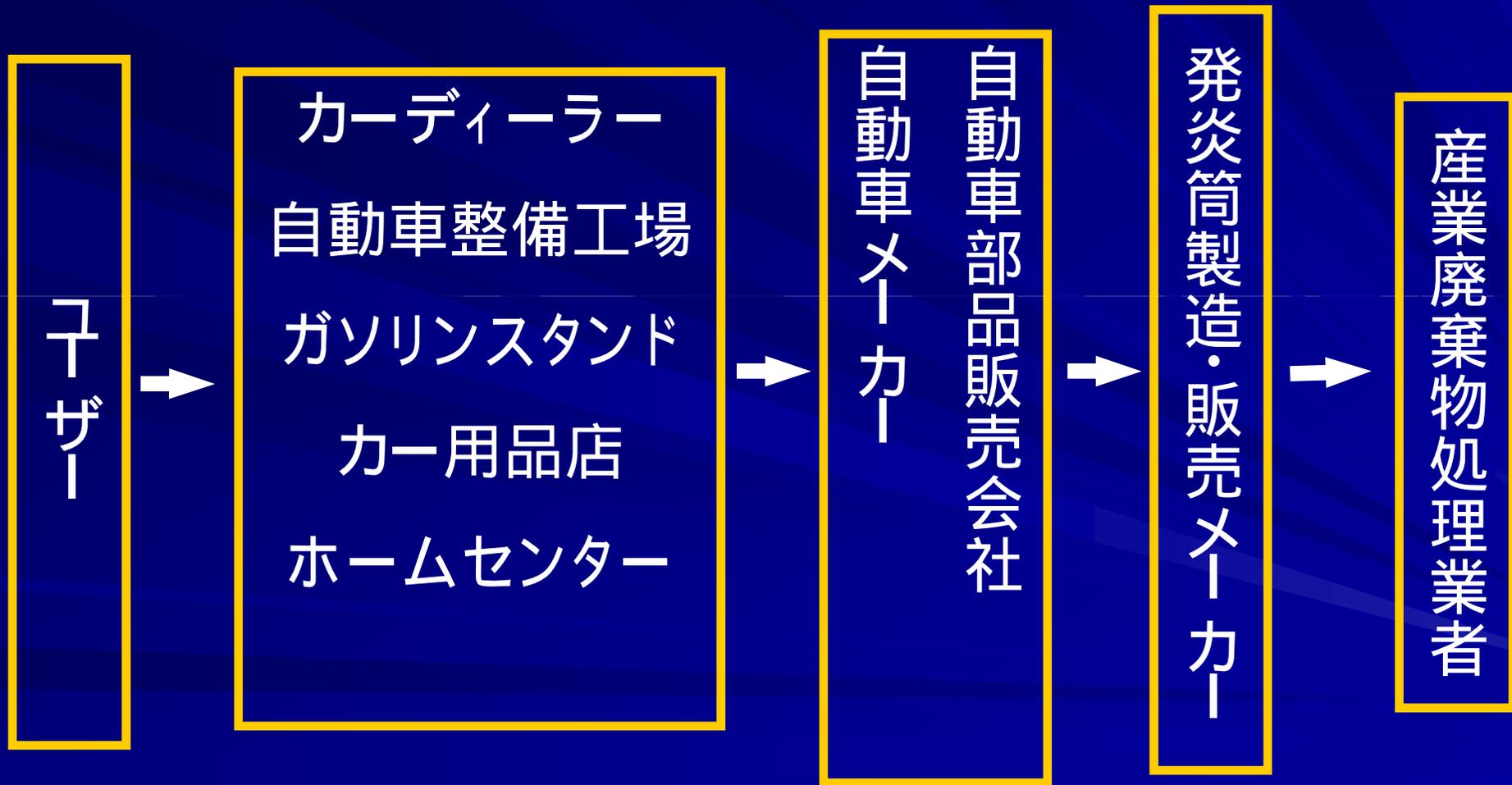
生産ライン 520万本/年

補給部品 650万本/年

現行回収システム構築の経緯

- 環境重視を目的とし発炎筒のリサイクル・リユースへの取り組みを、平成12年より開始。
- 平成13年に発炎筒製造・販売メーカーに対しシステムの構築に向け協力依頼。
- 平成14年自工会、各自動車メーカー及び自動車部品商社等の協力にて構築。

発炎筒回収の流れ



発炎筒の回収率

■ 発炎筒回収率

(日本保安炎筒工業会2007年調査)

■ 補給部品

年間販売数量	約650万本/年
年間回収数量	約480万本/年
平均回収率	約74%

回収時の状況

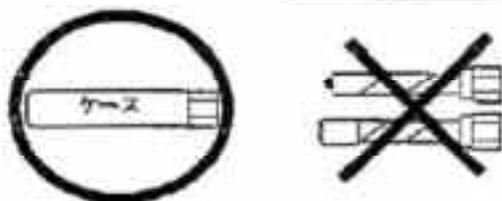


- 発炎筒専用の回収箱を設定し、運用。

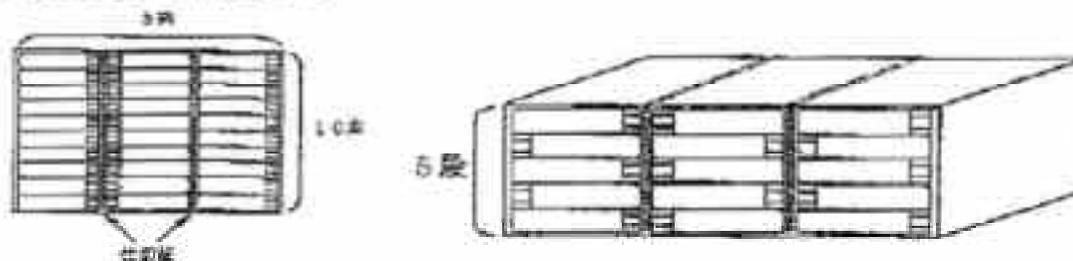
収納方法

1. 期限切れ発煙筒の収納方法

- (1) 発煙筒は必ずケースを被せて収納して下さい。
ケースを被せないと発火する恐れがあります。



- (2) 収納本数は 150 本を厳守願います。
(3) 仕切り板 2 枚で箱内を 3 等分して下さい。
(4) 底部及び頭部を列ごとに整理して、交互に 5 段積み重ねて下さい。
(5) 封頭テープは丈夫なテープを使用して、落下等による発煙筒の飛び出しがないようフラップを固定してください。



■ 回収する発煙筒は収納方法を徹底。

回収検品



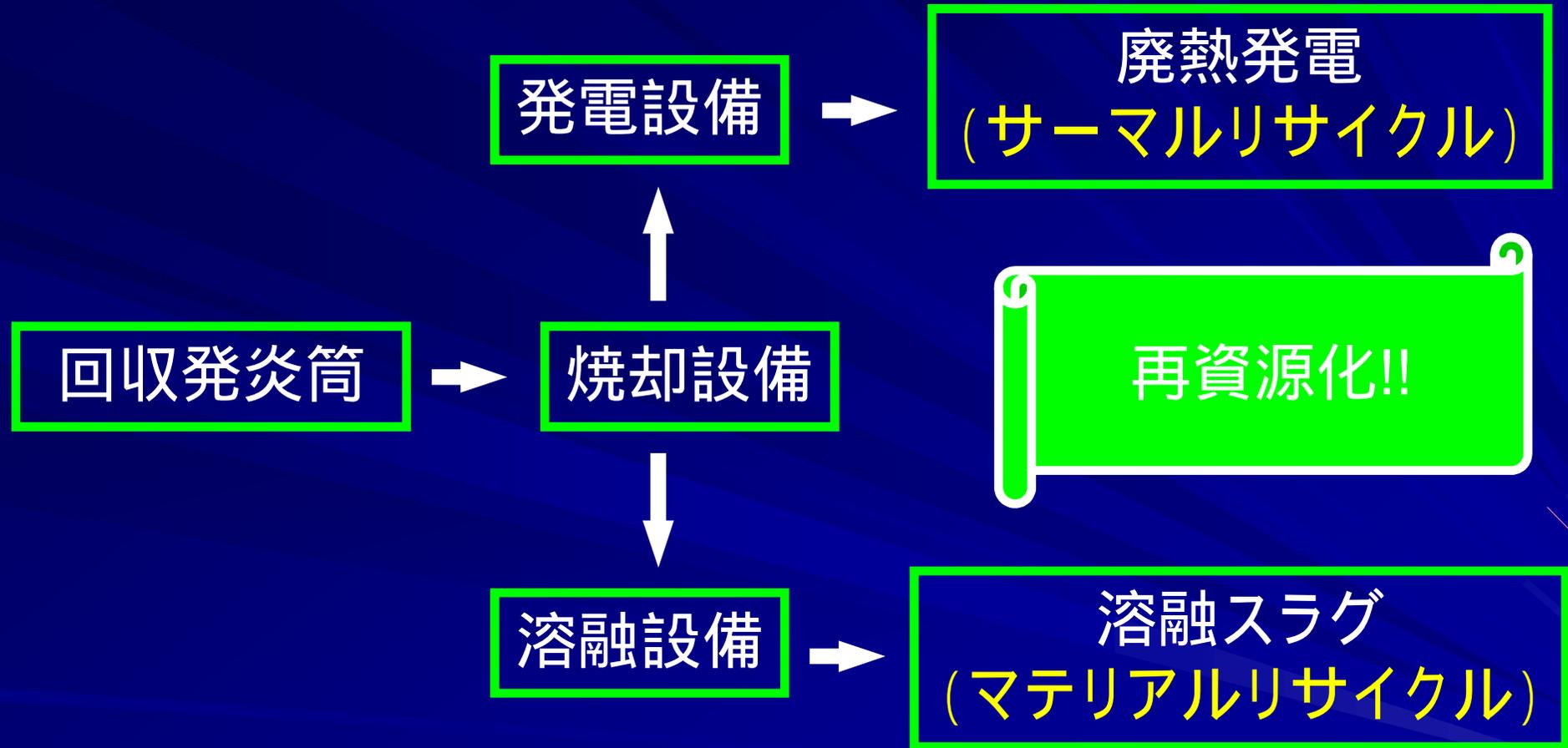
- 回収した発炎筒は、全数検品を実施。

一次保管



- 回収した発炎筒は、がん具煙火庫にて保管。

発炎筒処理フロー



- 産業廃棄物処理業者にて処理を委託。
- 処理後は廃熱発電・熔融スラグに再資源化。